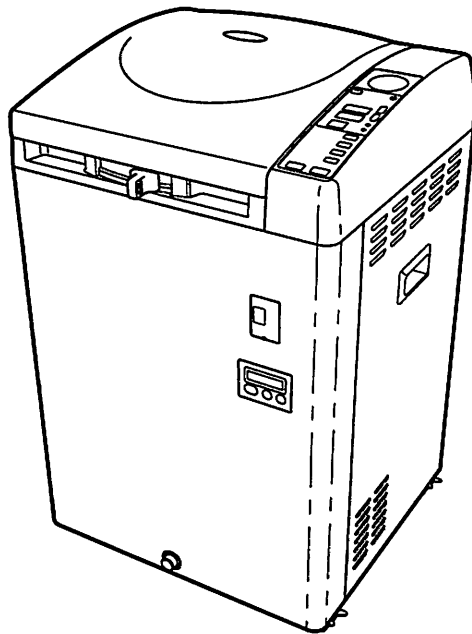


取扱説明書 小型高温高圧調理機 品番 FCS-KM76

もくじ

ページ

達人釜



安全上のご注意	2~4
使用上のご注意	5
ご使用になる前に	6
各部のなまえとはたらき	7~9
付属品	10
食材について	10~11

ご使用前

ご使用方法

● インターフェースについて	12
● 基本操作手順	13~22
● 運転中止のしかた	22

ご使用中

停電について	23
お手入れ	24~25
故障かな?と思ったら	26~27
仕様	28
保守・点検について	28
圧力容器の管理について	29
保証とアフターサービス	29
部品交換	30

ご使用後

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2~4ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書及び設置工事説明書とともに大切に保管してください。
- この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

保証書別添付

設置工事説明書別添付

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

危険

■ 以下のものを本機にいれたり、近くに置かない



労働安全衛生法施行令別表第1に定められた

- 爆発性物質 ● 発火性物質 ● 酸化性物質
- 引火性物質 ● 可燃性物質

爆発のおそれがあります。

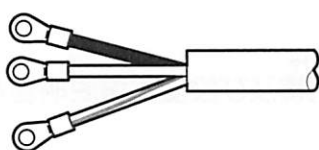


警告

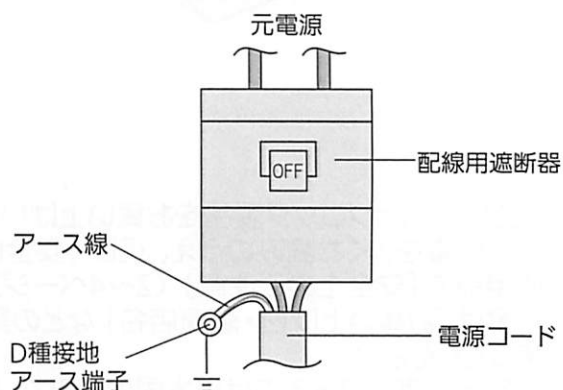
■ 電源コードは、配線用遮断器に接続する



専用の配線用遮断器の接続口に電源コードを接続してください。(単相AC200 V、30 Aを推奨)
発火したり、異常作動してケガの原因になります。



黒：AC200 V
白：AC200 V
黄/緑：アース線



警告



■アースを確実に取り付ける

アースが確実に取り付けられているか確認してください。
アース端子にD種(第3種)接地工事のされているアースを必ず接続してください。
感電の原因になります。



■改造はしない

サービス技術者以外は絶対に分解・修理を行わないでください。
発火したり、異常作動してケガの原因になります。



■屋外設置禁止

雨水にかかる場所でご使用されますと、漏電、感電の原因になります。

■電源コードは延長しない

感電・火災の原因になります。

■電源コードをクギなどで打ちつけない

電源コードが過熱し、発火の原因になります。

■電源コードの上に物をのせない

電源コードが過熱し、発火の原因になります。

■製品の上に乗らない

転倒・破損・落下などによりケガの原因になります。

■加圧中に蓋を開けない

圧力計の針が 0 MPaを示していることをお確かめください。
0 MPa以外を表示しているときは、絶対に蓋を開けないで下さい。
やけどやケガの原因になります。

■無断廃棄しない

製品の廃棄に関しては、販売店または「お客様ご相談窓口」にご相談ください。無断で廃棄されますと違法行為となり、罰則が科せられます。



■製品の据え付けは販売店・専門業者へ依頼する

不備があると転倒や水漏れ、感電、火災の原因になります。

■水平に据え付ける

床面が丈夫で平らなところに水平になるように据え付けてください。不備があると、水漏れ、転倒・落下によるケガの原因になります。

■配線用遮断器が作動した時は専門業者に確認する

無理な電源復帰を行うと感電・火災の原因になります。

■異常時は運転を停止し、電源スイッチを「OFF」配線用遮断器を「切」にする

異常時(こげ臭いなど)は、電源スイッチを「OFF」にして配線用遮断器を「切」にし、お買い上げの販売店にご相談ください。異常のまま運転を続けると、感電・火災の原因になります。

■雨のかからない場所に保管する

再使用のときに漏電、感電の原因になります。

■容器包装は規定されたものを使用する

容器包装は「厚生労働省告示370号」で規定されたものを使用する。
変形・破損などの原因になります。



■ぬれた手で電源スイッチをさわらない

感電の原因になります。



■本機に水をかけない

通電部がショートし、感電・発火の原因になります。

⚠ 注意



■ 運転中、排水フィルター・水抜き栓を開けない

やけどの原因になります。

■ 蓋の内側に手や指を入れない

手や指を挟んで、ケガの原因になります。

■ 冷却用給水口をふさがない

冷却用給水口をふさぐと食材が冷却不良となり、食材の損傷の原因になります。

■ 蓋を開けるときの、顔を近づけない

高温の蒸気により、やけどの原因になります。

■ 子供に使用させたり、いたずらさせない

感電・やけど・ケガの原因になります。

■ 本機を傾けたり倒さない

チャンバー内の水がこぼれ、感電・やけどの原因になります。

■ 排水管にトラップを付けない

排水性がわるくなり、殺菌不良の原因になります。

■ 食材でチャンバー内の穴や温度センサーをふさがない

チャンバー内の温度上昇や、圧力異常となり、センサーの誤動作による殺菌不良の原因になります。

■ 食材でチャンバー内の温度センサーに力を加えない

殺菌不良の原因になります。

■ 圧力安全弁吹き出し口から蒸気が吹き出しているときは、近づかない

やけどの原因になります。

電源スイッチを「OFF」にして、配線用遮断器を「切」にし、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 容器包装にガラス容器、金属缶は使用しない

変形・破損などの原因になります。



■ 蓋やチャンバー周辺に触れない

運転中・運転直後は高温になっていますので、やけどの原因になります。



■ 排水管は確実に本機背面の排水口に挿入する

排水管は本機の排水口より高くないようにしてください。排水性が悪くなり、殺菌不良の原因になります。

また、排水管が排水口にさし込まれていないと、運転中に排水がはねて、蒸気や湯気で、やけどの原因になります。

■ 殺菌効果の確認をする

殺菌性能は、食材の種類・量・入れかた・容器の種類などにより変わりますので、事前に殺菌効果を確認してください。殺菌不良の原因になります。

■ 移動するときは、とっ手を持って運ぶ

本機を移動させるときは、転倒に注意し、数人で運んでください。

誤って倒すと、ケガなどの原因になります。

■ 移設する場合は専門業者に依頼する

移設は、販売店または専門業者に依頼してください。

据え付け不備があると水漏れ、感電・火災の原因になります。

■ 電源スイッチの遮断器の点検を実施する

正常に動作しないと、感電・火災の原因になります。

■ 蓋は手をそえてゆっくり開ける

蓋が勢いよく開いて、はね返りがおこり、ケガの原因になります。

■ 食材を取り出すときは、耐熱性皮手袋を使用する

液体は温度が下がるまでに時間がかかりますので、運転終了直後、素手で扱うとやけどの原因になります。

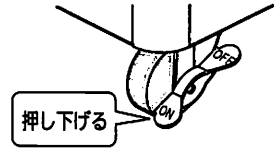
使用上のご注意

- **食材を袋に入れて殺菌するときは、必ず付属のステンレス製バスケットに入れて殺菌する**
直接入れると袋が温度センサー部をふさぎ、正常な温度コントロールができなくなります。
(☞ 10～11ページ)
- **目的外の使用禁止**
食材（食品）の殺菌以外には使用しないで下さい。
- **加熱用水は水道水を使用する**
井戸水、塩水などを使用すると、故障の原因になります。
- **1日の使用後は電源スイッチを「OFF」にし、水栓を閉める**
長期間ご使用にならない場合も、必ず電源スイッチを「OFF」にして配線用遮断器を「切」にし、水栓を閉めてください。
- **食材がチャンバー内にこぼれた場合は、必ずチャンバー内をお手入れする**
チャンバー内のこぼれた食材は取出し、チャンバー内と排水フィルターを洗浄してください。
腐食により、早期故障の原因になります。(☞ 24～25ページ)
- **お手入れするときは、電源スイッチを「OFF」、配線用遮断器を「切」にする**
配線遮断器を「入」のままお手入れすると、故障の原因になります。
- **傷んだままのプリンター用ケーブルを使用しない。**
- **プリンター用ケーブルの上に物を置かない。**
故障の原因になります。
- **プリンター用ケーブルの接続先を確認する。**
接続先が緩んだまま使用すると、故障の原因になります。

ご使用になる前に

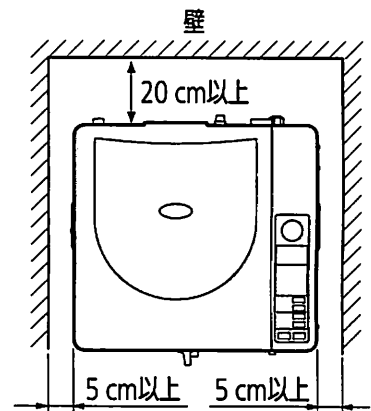
運搬

- 運搬時は安全のため、必ず二人以上で行ってください。
- 運搬は、本機の左右にありますとっ手を持って行ってください。



設置

- 本機の使用環境と条件
使用場所：屋内
周囲温度：5℃～35℃
相対湿度：30%～85%
標高：0 m～3000 m
電圧変動：公称電圧の±10 %
- 本機は必ず水平で堅固な場所に設置して、キャスターは四輪ともロック（ON）してください。
- 次のような場所には設置しないでください。故障の原因になります。
 - ・直射日光が当たる場所
 - ・湿度の高い場所
 - ・水滴のかかる場所
 - ・ほこりの多い場所
 - ・傾斜した場所（空だき検出しにくくなります。）
 - ・塩分・硫黄分などを含んだ空気に触れる場所
- 本機後面は20 cm以上、両側面は壁から5 cm以上離してください。壁に密着しますと、本機内部に熱がこもり故障の原因になります。
- 本機後面の排水管から蒸気や熱湯が出ますので、コンセントや電気機器のある場所の近くや、蒸気・熱湯が気になる壁や床はさけてください。
- 設置地域の標高に合わせて本機の沸点の設定が必要です。お買い上げ時は、100℃に設定してあります。標高が200 m以上の地域に設置する場合は、お買い上げの販売店に相談してください。
- 本機は屋外に設置して使用しないでください。雨水のかかる場所でご使用されますと、漏電・感電の原因になります。



電源・アース接続

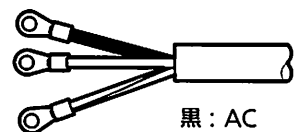
警告

電源コードは、配線用遮断器に接続する



- 専用の配線用遮断器の接続口に電源コードを接続してください。（単相AC200 V、30 Aを推奨）
- 電気工事は、資格を有する工事施工業者に依頼してください。発火したり、異常作動してケガの原因になります。

電源設備の過電流遮断器の定格容量が20 Aの場合は、電圧変動・周囲温度・取付け角度などにより、遮断器がはたらくことがあります。そのときは、より容量の大きい専用接続口に接続してください。



黒：AC
白：AC
黄/緑：アース線

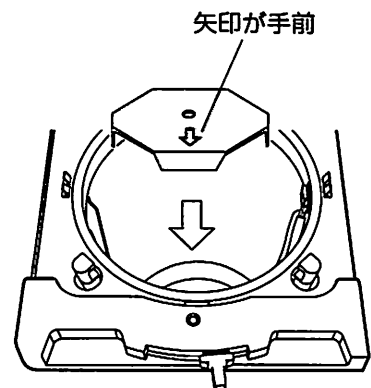
警告

アースを確実に取り付ける



- アースは、必ずD種（第3種）接地工事がされているものを接続してください。感電の原因になります。

電源コードの黄/緑色の心線がアース線になっています。接地工事は、必ず販売店または電気工事店に依頼してください。

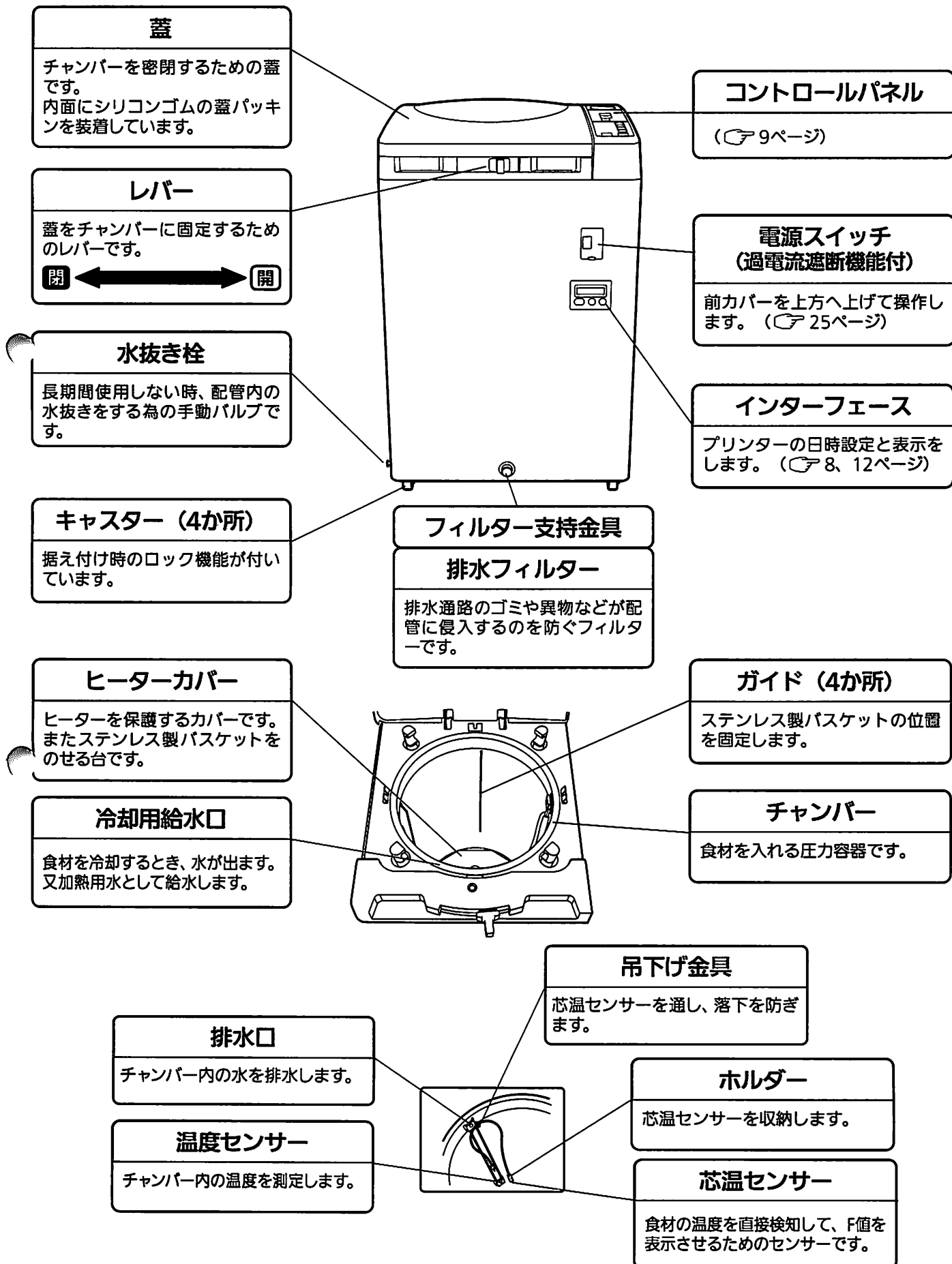


ヒーターカバーの取り付け

- 矢印のマークを手前にして取り付けてください。方向が異なると温度ムラの原因になります。
- ヒーターカバーは必ず取り付けてください。直接ヒーターの上に食材を入れると、故障や、食材の破損の原因になります。

各部のなまえとはたらき

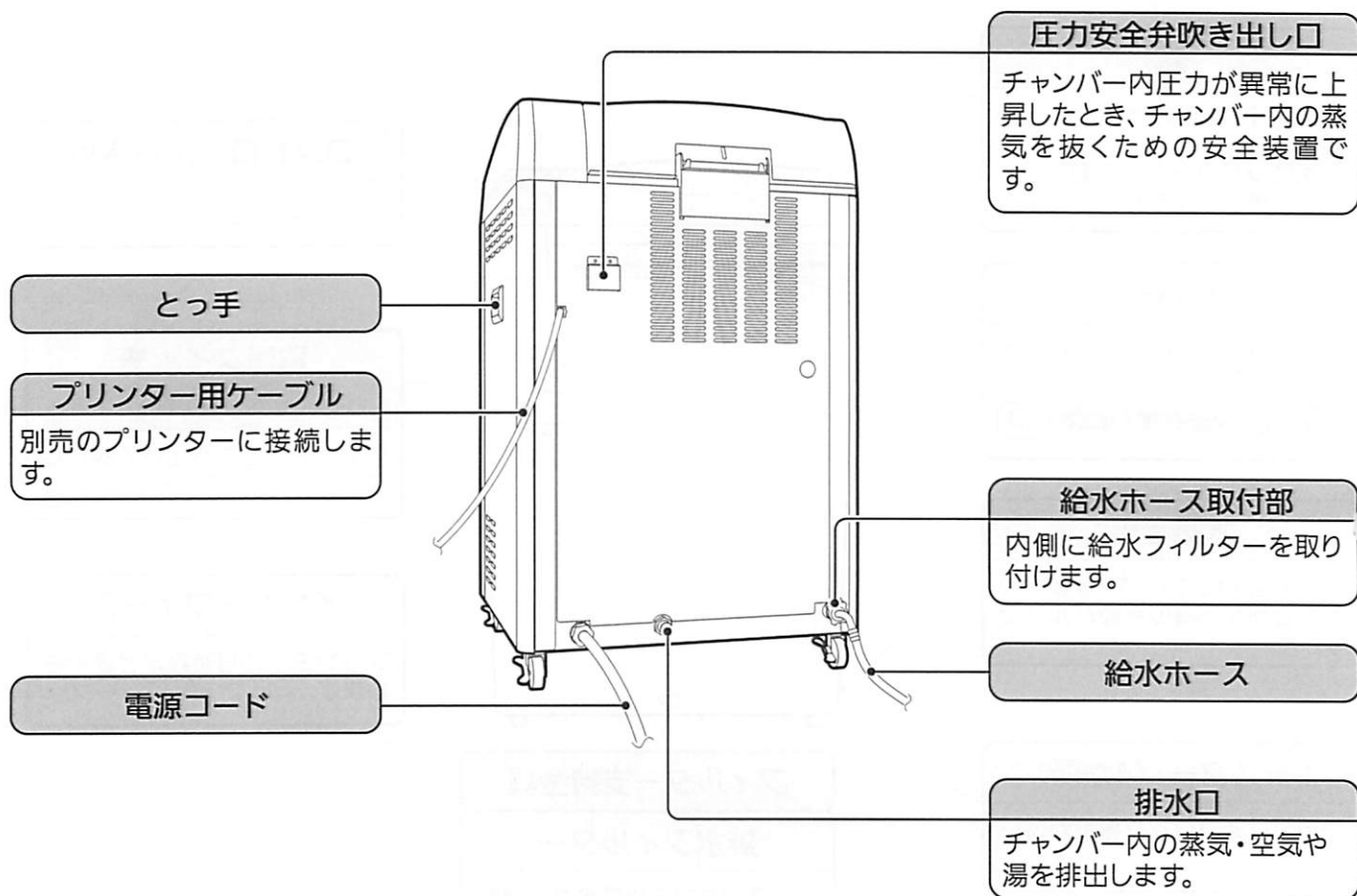
本体ユニット（正面）



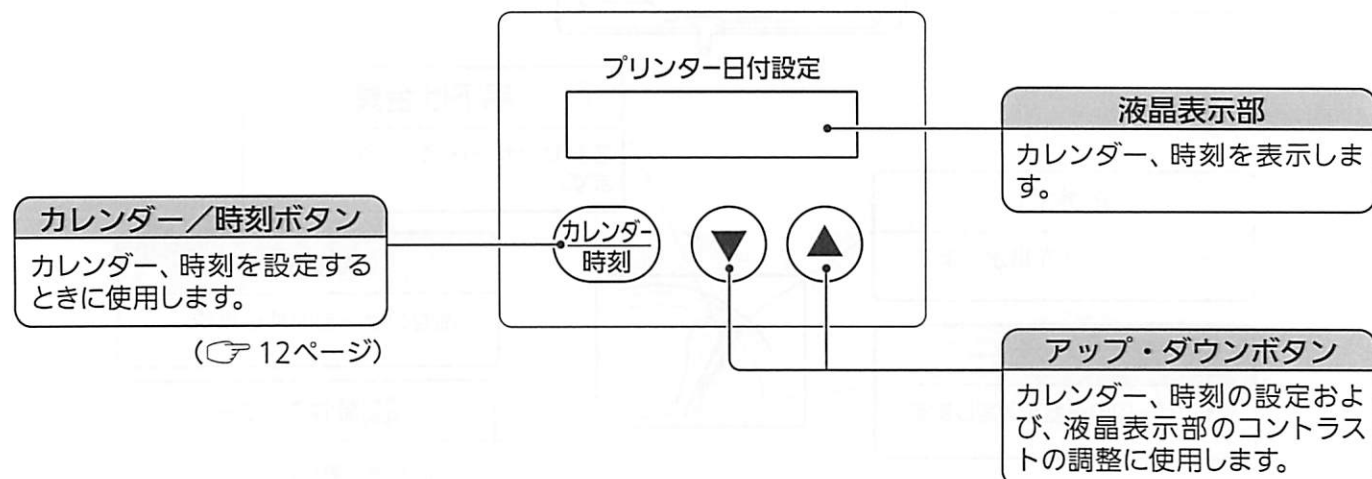
各部のなまえとはたらき

(つづき)

本体ユニット (背面)



インターフェース



コントロールパネル

圧力計
チャンバー内の圧力を表示します。

F値ボタン
F値ボタンを押すと、ランプが点灯しF値を計算します。
(F値とは殺菌効果を数値化したものです)
(☞ 11、18、22ページ)

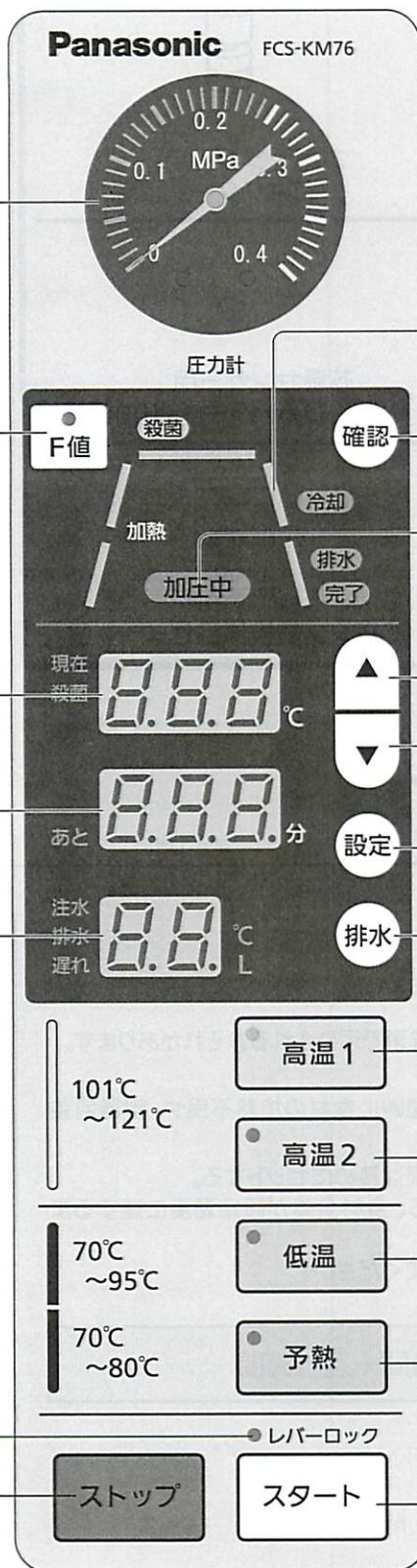
デジタル表示部 I
現在温度、殺菌設定温度・予熱設定温度を表示します。

デジタル表示部 II
設定時間、残時間(分)、芯温、F値、注意サイン、エラーサインを表示します。

デジタル表示部 III
排水温度、排水待ち時間、注水量を表示します。

レバーロックランプ
運転開始後、レバーのロック装置がはたらくと点灯します。

ストップボタン
運転を中止します。



工程表示ランプ
運転中の工程内容を点滅表示します。

確認ボタン
運転中に設定値、F値をデジタル表示部に表示します。
(☞ 19ページ)

加圧中ランプ
チャンバー内が加圧状態になると点灯します。

アップ・ダウンボタン
殺菌温度、殺菌時間、予熱温度、予熱時間、排水温度、排水待ち時間の設定変更に使用します。

設定ボタン
設定値を変更、確定に使用します。
(☞ 16、17ページ)

排水ボタン
チャンバー内の水を排水します。

コース選択ボタン
3コースの中から選択します。

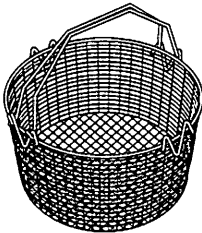
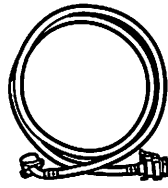
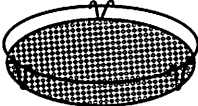
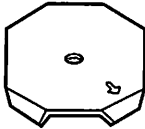
予熱ボタン
殺菌前にチャンバー内を温め、殺菌処理時間を短縮します。

スタートボタン
運転を開始します。

ご使用前

付属品

● 本機には、以下の付属品があります。お確かめください。

殺菌用		設置工事用
		
ステンレス製バスケット 3個 ※	芯温センサー用 コネクター 1個	給水ホースセット (2 m) 1個 (マジック継手付き)
		● 本部品は芯温センサー用付属品と共に 説明書に同梱されています。
ステンレス製網棚 15個 ※	芯温センサー用 ゴムパッキ 100個	
		給水フィルター 1個
ヒーターカバー 1個 ※	Oリング交換部品セット 1個	

※の記号が付いた付属品は、工場出荷時に正規位置に収納されています。

食材について

殺菌を行うときの注意

- 食材の容器包装は完全に密封する。
冷却時に冷却用水が混入したり、殺菌後に雑菌で汚染されるおそれがあります。
- 容器包装の中の空気を抜く。
容器包装内に空気が残留していると、殺菌時に食材の加熱不良や、容器包装の破損の原因になります。
- 大きい容器包装を使用する時は、設定時間は長めにセットする。
チャンバー内温度が設定温度に達してから、食材全体が設定温度に達するまでに遅れ時間があります。
殺菌設定時間は遅れ時間分長めに設定してください。

殺菌設定時間＝殺菌時間＋遅れ時間

[遅れ時間の目安]

121℃設定で約5分

※室温25℃レトルトパウチ(水道水1000 ml) 15袋の場合

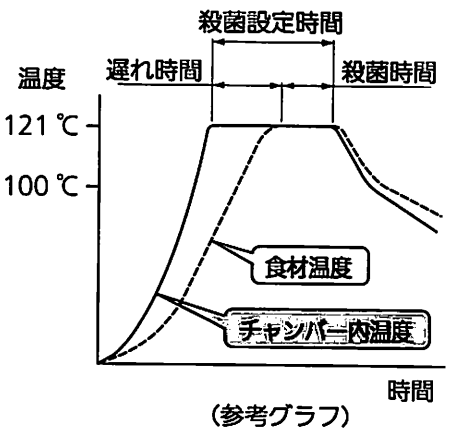
食材の芯温を測定する芯温センサーを装備しています。
芯温センサーで検知した値によりF値を計算します。

⚠ 注意



食材でチャンバー内の穴や温度センサーをふさがない

チャンバー内の温度上昇や、圧力異常となり、センサーの誤動作による殺菌不良の原因になります。



食材の殺菌について

- 殺菌する時は、必ず食材を付属のステンレス製網棚で仕切るようにステンレス製バスケットに入れてください。
ステンレス製網棚を使わないと食材の容器包装を傷つけることがあります。
- 安心して販売できる商品製造のために、以下のことに十分ご注意くださいか、またはおやめください。

食材の内容 粘度の高い物、低い物、たんぱく質の多い物、少ない物は、熱伝導が異なる為、食材の芯温が設定温度に達する時間が変わります。同じサイズの容器包装でも、同じ設定ではありません。

また、同じ食材でもカットの仕方などで大きさ（厚み）が異なる場合も同様です。

みりんなどアルコールを含有する調味料を使用する場合には、アルコール分を飛ばしてから密閉してください。

食材の量・容器包装の大きさ及び材質 異なる商品（食材）を入れて一度に、またはサイズの異なる容器包装に入れて一度に殺菌することは絶対にしないでください。（熱伝導時間が変わります。容器包装の材質を変更した場合も同じです。）

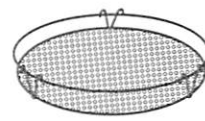
食材の温度 できたて・粗熱が取れている物・常温品・冷蔵品などは、すべて遅れ時間にずれがでます。

温度上昇時間が変わり、殺菌が不十分になります。本器に食材をセットする前に、食材の温度を一定温度にしてください。

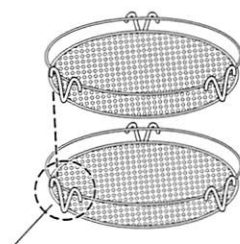
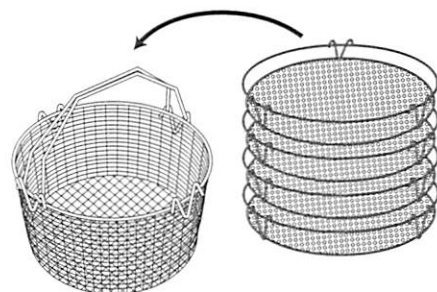
食材のセットの仕方 必ずステンレス製網棚を使用し、食材同士が重ならないようにしてください。



ステンレス製
バスケット



ステンレス製網棚



ステンレス製網棚は3箇所の
ずれ防止の内側に重ねて置く

ご使用前

お願い

アルコールを含有する調味料を使用する場合には、アルコール分を十分に飛ばしてから密閉してください。
容器包装の破裂の原因になります。

⚠ 注意

食材を取り出すときは、耐熱性皮手袋を使用する



液体は温度が下がるまでに時間がかかりますので、運転終了直後、素手で扱うとやけどの原因になります。

殺菌性能の確認

- 商品（食材）の販売前に

本機で製造（殺菌）した食品を販売する場合には、容器包装詰加圧加熱殺菌食品（レトルト食品）の「食品、添加物の規格基準」（厚生労働省告示第370号）で規定された成分規格、製造基準を満たすことが必要です。

成分規格

規定された試験法により、発育し得る微生物が陰性であることを確認することが必要です。

具体的には、商品開発の最終段階では、必ず本番の製造と同じ工程・環境で製造して食品を35℃で14日間保存して、容器包装の膨張の有無を確認する恒温試験と細菌試験により、細菌が検出されないことを確認します。

製造基準

食品は定められた容器包装、殺菌方法により製造しなければなりません。

具体的には、食品は中心部の温度が120℃で4分間加熱する方法と同等以上の効力を有する方法で殺菌し、温度の記録は3年間保存しなければなりません。

本機は食品の中心温度を測定して、F値を計算します。F値はレトルト食品の安全性を示すもので、121℃、1分間の加熱をF値=1と規定しています。本機でレトルト食品を製造する場合、F値は8以上を推奨します。

- 消費期限の設定

消費期限の設定（表示）は、製造者・販売者の責任になります。

殺菌検査や理化学検査および官能検査などの結果に基づき、科学的・合理的根拠により適正に設定します。

ご使用方法

- 本機にはプリンターインターフェースが組み込まれています。
プリンターをご使用されます場合は、別売のプリンターを接続してください。

インターフェースについて

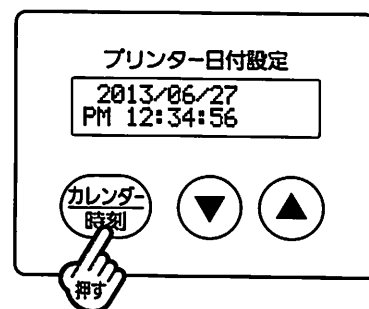
工場出荷時に、年・月・日・時・分は設定されていますが、使用前に確認をしてください。

設定が必要な場合は、下記手順で行ってください。

1. カレンダー／時刻の設定

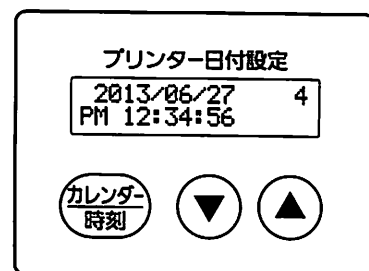
- 本機の電源スイッチを「ON」にすると液晶表示部上段に「年・月・日」、下段に「時・分・秒」が表示されます。
※時刻は12時間表示です。

-  ボタンを押すごとに「年・月・日・時・分」と点滅が変わります。
点滅している場所で   ボタンを押して設定します。
設定完了から20秒後に点滅から点灯に変わり、設定した内容が記憶されます。



2. 液晶表示部のコントラスト設定

- 液晶表示部が点滅していない状態で   ボタンを押すと、右上に数字が表示されます。
- コントラストには1（淡い）～9（濃い）の段階があります。   ボタンで設定してください。（出荷時は4に設定されています。）
設定完了から10秒後に右上の数字が消え、設定が記憶されます。



メモ

電池交換について

液晶表示部が「2000/01/01 AM12:00:00」で点滅している場合は電池が消耗しています。
お買い上げの販売店にご相談ください。

印刷

- 印刷する場合
 1. プリンターが接続されている事を確認する。（別売）
 2. プリンターの電源スイッチを入れる。
 3. 本機の電源スイッチを「ON」にする。
 4. 本機の運転開始と共にデータ印刷を開始し、運転終了まで継続します。※ 印字内容は設置工事説明書7ページの「プリンターの印字内容」を参照ください。
- 終了する場合
 1. 本機の電源スイッチを「OFF」にする。
 2. プリンターの電源スイッチを切る。

基本操作手順

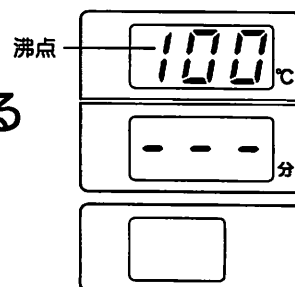
参 照
ページ

高温1コース	高温2コース	低温コース	予 熱	
↓ 手動				
水栓（水道の蛇口）を開く				14
↓				
配線用遮断器を「入」、電源スイッチを「ON」にする				14
↓				
蓋を開ける				14
↓				
食材を入れる				15
↓				
蓋を閉める				15
↓				
コース選択ボタンを押す				15
↓				
(設定内容を変更する)				16
↓				
スタートボタンを押す				18
↓ 自動				
加熱用水を自動で注水				
↓				
殺 菌				
↓				
冷 却				
↓				
排 水				
↓				
運転が完了する				19
↓ 手動				
蓋を開ける				20
↓				
食材を取り出す				20
↓				
電源スイッチを「OFF」、配線用遮断器を「切」にする				20
↓				
水栓（水道の蛇口）を閉める				20

1. 水栓（水道の蛇口）を開く

2. 配線用遮断器を「入」、電源スイッチを「ON」にする

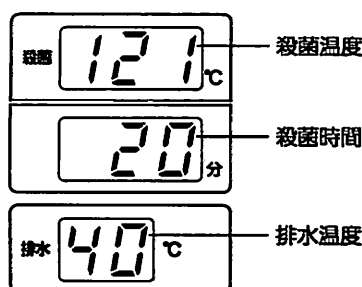
- コントロールパネルのランプが点灯します。
(最初の約2秒間は、デジタル表示部Iに沸点を表示します。)
- お使いになる前に排水フィルター、水抜き栓が確実に閉まっていることを確認してください。



デジタル表示部

■レバーが「閉」のとき

設定内容（設定温度・時間）を表示します。
この状態を「スタンバイ状態」といいます。



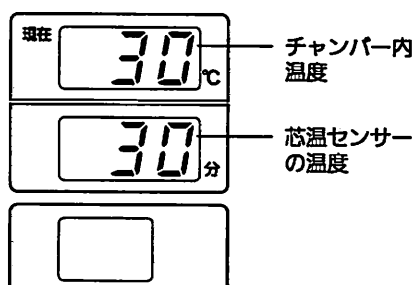
このとき、確認ボタンを押すと、押している間だけ、デジタル表示部Ⅲに排水温度と排水待ち時間を交互に表示します。

チャンパー内の温度及び芯温センサーの検知温度を確認するときは、



を同時に押す

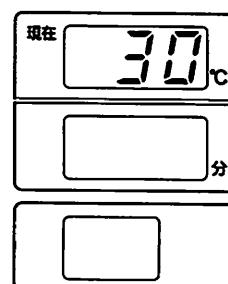
押している間、現在の温度を表示します。



温度が30℃のとき
(25℃未満のときは「LO」と表示します。)

■レバーが「開」のとき

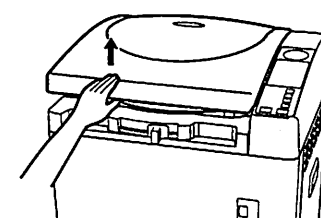
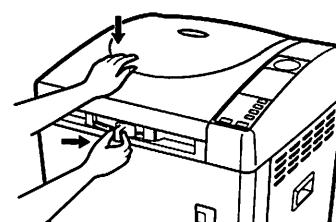
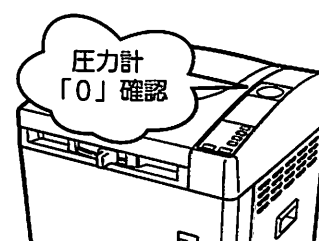
チャンパー内の現在の温度を表示します。



チャンパー内温度が30℃のとき
(25℃未満のときは「LO」と表示します。)

3. 蓋を開ける（電源スイッチが入っていないと蓋を開けることができません。）

- ① 蓋を開ける前に必ず、次のことを確認する。
無理に開けようとすると、故障の原因になります。
 - 電源スイッチが「ON」になっている。
 - 圧力計が「0 MPa」になっている。
 - レバーロックランプが消灯している。
- ② 蓋を下に押しながらレバーを「開」にスライドする。
- ③ 蓋は手をそえて、ゆっくりと開ける。



⚠ 注意

蓋は手をそえてゆっくり開ける

蓋が勢よく開いて、はね返りがおこり、ケガの原因になります。

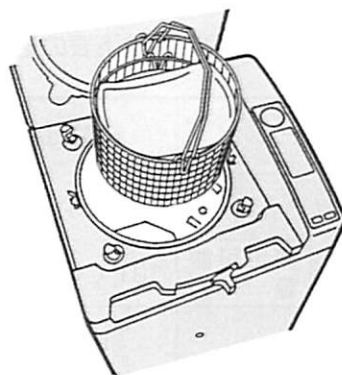


4. 食材を入れる

- 付属のステンレス製バスケット、ステンレス製網棚に入れてチャンバー内に静かにセットしてください。
- F値を計算するために食材に芯温センサーを正しくセットしてください。(C 21~22ページ)

メモ

- 運転する前に、もう一度「食材について」(C 10~11ページ)を参照して食材の入れかたなどを確認してください。
- 付属のステンレス製バスケット、ステンレス製網棚以外は使用しないでください。
- 付属のステンレス製バスケットを出し入れするとき、芯温センサーに引っかからないように注意してください。
- 食材を出し入れするとき、身体に負担がこないように注意してください。腰痛などの原因になります。



5. 蓋を閉める

- ① 蓋パッキンとチャンバー開口部が、汚れていたり、ゴミが付着していないか、確認する。
汚れていたり、ゴミが付着していると、蒸気漏れの原因になりますので、お手入れしてください。

(蓋パッキンとチャンバー開口部 C 24ページ)

- ② 蓋を下に押しながら、レバーを「閉」にスライドする。
デジタル表示部に設定温度・時間を表示します。

- チャンバー内温度が60℃以上のときは、パッキンの膨張によりレバー操作が重くなります。

ピッ

しっかり押さえる



6. コース選択ボタンを押す

- 3つのコースと予熱が選択できます。

【コース内容について】

高温1コース

自動注水後、ヒーターに通電してチャンバー内の加熱を開始します。チャンバー内の圧力を見ながら加圧と排気を繰り返し、設定した殺菌温度まで加熱し、殺菌終了まで設定温度を維持します。殺菌終了後は、チャンバー内を加圧しながら冷却します。

高温2コース

自動注水後、ヒーターに通電してチャンバー内の加熱を開始します。100℃まで加熱しながらチャンバー内の空気を抜き、その後設定した殺菌温度まで加熱し、殺菌終了まで設定温度を維持します。殺菌終了後は、チャンバー内を加圧しながら冷却します。

低温コース

自動注水後、ヒーターに通電してチャンバー内の加熱を開始し、設定した殺菌温度まで加熱し、殺菌終了まで設定温度を維持します。殺菌終了後は、チャンバー内を加圧しながら冷却します。高温1コースに比べると、殺菌温度設定可能範囲が異なります。(C 16ページ)

予熱

殺菌前に予めチャンバー内をあたためることで、殺菌処理時間を短縮します。このとき、食材はいれません。自動注水後、ヒーターに通電してチャンバー内の加熱を開始します。加熱しながらチャンバー内の空気を抜き、その後設定した予熱温度まで上昇します。予熱時間終了後は、自動排水し終了します。その後食材殺菌に適した各コース(高温1・高温2・低温)を選択して使用してください。

※必要に応じ、別冊のクッキングブックの設定コースを参照ください。

- プログラムの設定値は変更することができます。必要に応じて変更してください。（*変更可能範囲参照）
（設定内容を変更する ☞ 16ページ）
- お買上げ時の設定値は下表の通りです。

コース	殺菌温度 ^{※1}	殺菌時間	排水温度 ^{※2}	排水待ち時間 ^{※3}	備 考
高温1	121℃	20分	40℃	5分	加熱用水はスタートボタンを押すと自動的に注水されます。 冷却工程では、冷却水が自動的に注水され、排水後完了になります。
変更可能範囲	101℃～121℃	0～250分	35℃～70℃	0～15分	
高温2	121℃	20分	40℃	5分	
変更可能範囲	101℃～121℃	0～250分	35℃～70℃	0～15分	
低温	85℃	30分	40℃	5分	
変更可能範囲	70℃～95℃	1～250分	35℃～70℃	0～15分	

選 択	予熱温度	予熱時間
予熱	80℃	10分
変更可能範囲	70℃～80℃	1～30分

※1 殺菌温度は96℃～100℃には設定できません。

※2 排水温度とは、冷却工程が終了し排水工程に移る温度です。

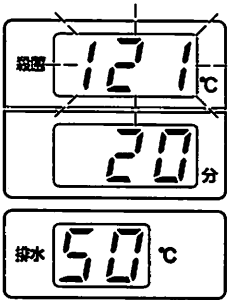
※3 排水待ち時間とは、排水温度まで温度が下がっても、強制的に冷却を継続する時間です。

食材の熱伝導が悪く、冷却が悪い場合には排水温度を下げ、かつ排水待ち時間を長くして容器包装の破損を防止してください。

7. 設定内容を変更する

- 設定値（殺菌温度・殺菌時間・排水温度・排水待ち時間・予熱温度・予熱時間）は、必要に応じて変更することができます。

- ① **設定** を押す。 ピッ
- 設定項目を点滅させます。
1回押すごとに設定項目が移動します。



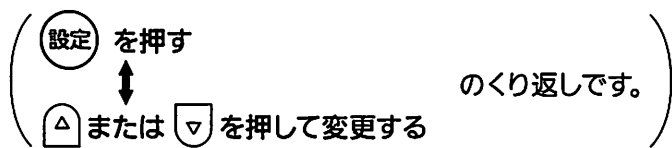
- ② または を押して、設定値を変更する。

メモ

は1回押すごとに1ずつ増減します。
押し続けると早く増減し、設定値の最大値または最小値で停止します。

- ③ を押し、次の設定項目を点滅させる。 ピッ

または を押して、設定値を変更する。



変更しない設定項目は、そのまま を押してください。

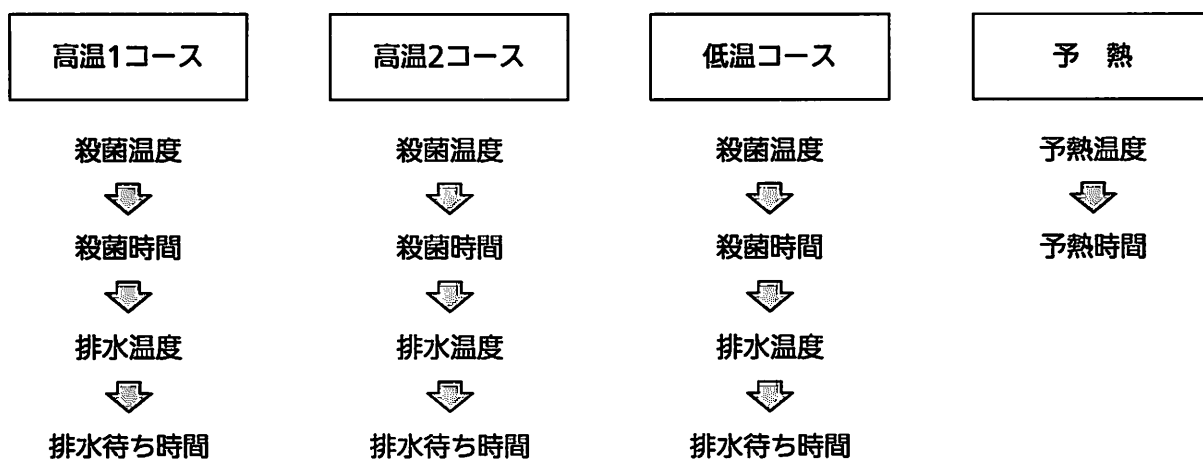
- ④最後に を押す。

確定されたら「ピー」というブザー音がして、変更内容がプログラムにメモリされます。

*点滅状態のまま約1分間放置すると、変更内容はメモリされずにスタンバイ状態になります。

（スタンバイ状態 14ページ）

を押すごとに、このように設定項目が点滅移動します



8. スタートを押す ビピッ

- スタートボタンを押す前に、F値ランプの点灯を確認してください。
F値ランプが点灯していない場合は、F値ボタンを押してください。
- ※F値の表示(F値ランプ点灯)は、1度設定すると電源を切っても記憶されています。

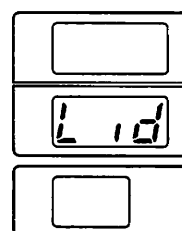


メモ

- 予熱は、スタート を2回押すことにより工程がスタートします。
予熱以外のコースは、スタート を1回押すと工程がスタートします。

お願い

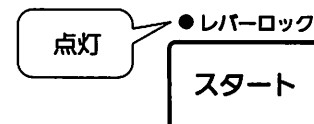
レバーが完全に「閉」にスライドしていないときは、デジタル表示部Ⅱに「**L id**」(注意サイン)が表示されます。もう一度レバーを「閉」にスライドして「ピッ」というブザー音を確認してから スタート を押してください。



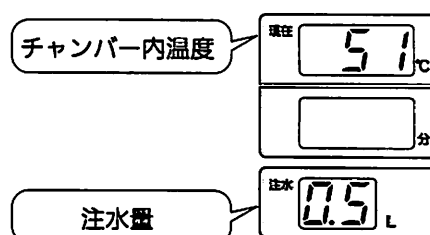
レバーが完全に閉まっていないとき

運転を中止するとき

運転中止のしかた 22ページ

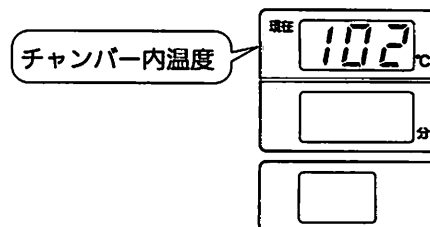


- 注水工程では、デジタル表示部Ⅰに現在のチャンバー内温度が表示され、デジタル表示部Ⅲに現在の注水量を表示します。



注水工程時の表示
(51℃/0.5Lの場合)

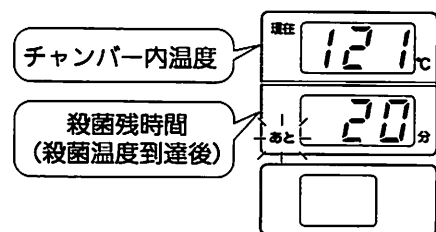
- 加熱工程では、デジタル表示部Ⅰに現在のチャンバー内温度が表示されます。



加熱工程時の表示
(102℃の場合)

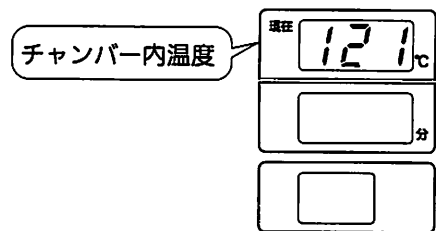
※25℃未満のときは「**L o**」と表示します。

- 殺菌工程では、デジタル表示部Ⅰに現在のチャンバー内温度が表示され、デジタル表示部Ⅱに滅菌残り時間を表示します。



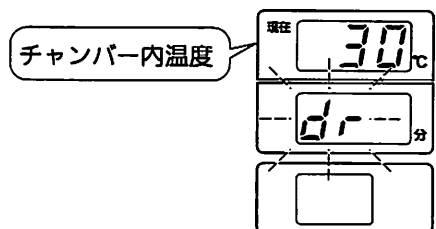
殺菌工程時の表示
(121℃、20分の場合)

- 冷却工程では、デジタル表示部Ⅰに現在のチャンバー内温度が表示されます。



冷却工程時の表示
(121℃の場合)

- 排水工程では、デジタル表示部Ⅰに現在のチャンバー内温度が表示され、デジタル表示部Ⅱに排水表示の「dr」点滅表示します。

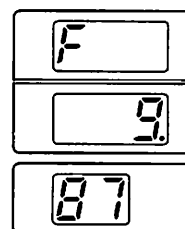


排水工程時の表示

運転中に設定内容を確認するとき

確認を押す

設定内容を表示します。3秒以上押すとF値を表示します。ただし、低温コース・予熱を選択した場合は、F値表示しません。

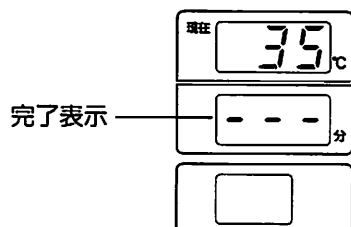


3秒以上押したとき
F値が9.87の表示例

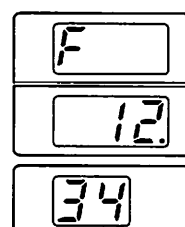
使用中

9. 運転が完了する

- 殺菌終了後、自動的に冷却・排水し「ピーピーピー……」とブザー音が鳴り、デジタル表示部Ⅱに完了表示します。
- F値ランプが点灯しているときは、デジタル表示部ⅠにF デジタル表示部ⅡとⅢにF値を表示し、(完了) が点滅します。



F値ボタンを使用しないときの表示



F値ボタンを使用しているときの表示例
(F値12.34の時)

10. 蓋を開ける

①蓋を開ける前に必ず、次のことを確認する。

無理に開けようとすると、故障の原因になります。

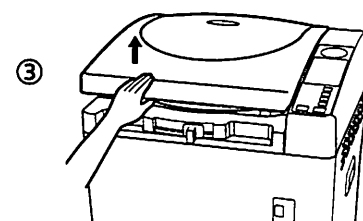
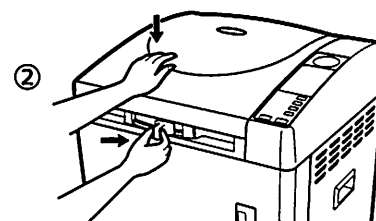
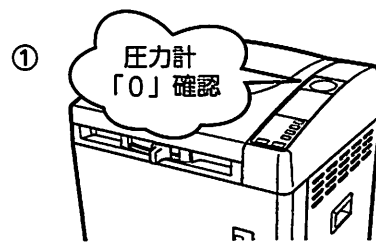
- 圧力計が0 MPaに下がっている

- レバーロックランプが消灯している

(点灯しているときは、チャンバー内が高温または加圧状態になっていますので、レバーをスライドすることができません。)

②蓋を下に押しながらレバーを「開」にスライドする。

③蓋は手をそえてゆっくり開ける。



11. 食材を取り出す

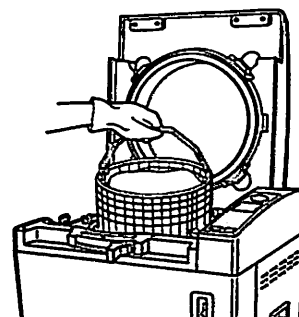
- チャンバー内の蒸気が抜けてから、食材を取り出します。

⚠ 注意

■ 蓋は手をそえてゆっくり開ける
蓋が勢いよく開いて、はね返りがおこり、ケガの原因になります。

■ 食材を取り出すときは、耐熱性皮手袋を使用する
液体は温度が下がるまでに時間がかかりますので、運転終了直後、素手で扱うとやけどの原因になります。

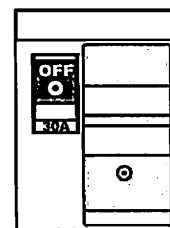
■ 蓋を開けるときの、顔を近づけない
蓋を開けるときの、チャンバーから高温の蒸気が出ますので、顔を近づけないでください。
やけどの原因になります。



12. 電源スイッチを「OFF」、配線用遮断器を「切」にする

①1日の使用が終了したら、電源スイッチを「OFF」にしてください。

②配線用遮断器を「切」にしてください。



13. 水栓（水道の蛇口）を閉める

チャンバー内の排水のしかた

運転途中で停止したとき、チャンバー内を洗浄したときなどは次の手順で排水してください。

<操作手順>

①電源スイッチを「ON」にする。

②蓋を閉める。

③排水を押す。

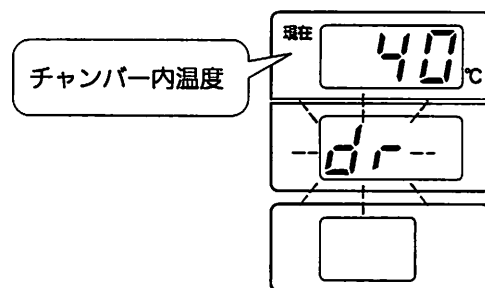
排水中はデジタル表示部Iにチャンバー内温度を表示し、デジタル表示部IIに「dr」表示し、点滅します。

④排水が完了すると自動で止まります。

デジタル表示部Iにチャンバー内温度を表示し、デジタル表示部IIに完了「---」表示をします。

お願い

運転途中で停止した場合は、加熱用水の温度が十分下がってから蓋を閉めた状態で排水を行ってください。
やけどの原因になります。



排水中の表示例

芯温センサーの使いかた

芯温センサーは、食材の温度を直接検知して、F値表示させるためのセンサーです。

チャンバー内の温度センサーで制御するため、センサー検知温度に対して食材全体の温度は遅れます。

(食材について 10～11ページ)

①芯温センサーの装着

チャンバー内のホルダーから芯温センサーを抜き、取り出します。

(吊り下げ金具は外さない。) 芯温センサー用コネクターを取り付けた袋に殺菌する食材を入れて真空包装した後、芯温センサー用コネクターのセンサー挿入部にセンサーの先端を挿入します。

挿入部にはセンサーのシール用として、小さなゴムパッキンが入っています。ゴムパッキンは毎回交換してください。

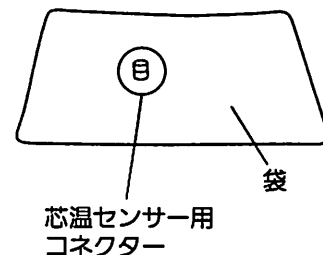
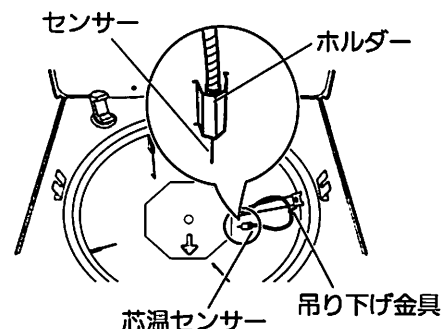
※ゴムパッキンは消耗品です。

②チャンバー内へのセット

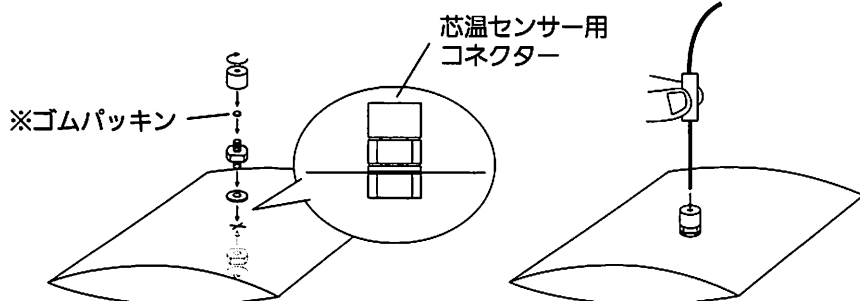
センサーを挿入した食材入りの袋をステンレス製バスケット内のステンレス製網棚の上に静かにセットします。センサー部が食材の中心部にあるかどうかを確認します。殺菌しようとする他の食材を入れて、蓋をします。このとき、芯温センサーに張力が加わらないように注意してください。

芯温センサーがチャンバー蓋パッキンに接触、または噛み込まないように十分注意してください。

接触しているとチャンバー蓋を正常に閉めることが出来ず、蒸気漏れや故障の原因になります。

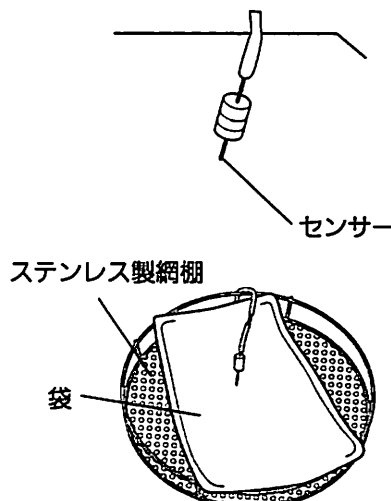


使用中



お願い

芯温センサーに張力が加わらないように注意してください。また、ステンレス製バスケットを出し入れするときに引っ掛けないように注意してください。



消耗・交換部品 (コード)
ゴムパッキン (661 068 0519)
芯温センサー用コネクター (661 051 1332)

③殺菌

スタートボタンを押す前に、F値ランプの点灯を確認してください。
F値ランプが点灯していない場合は、F値ボタンを押してください。

※F値の表示（F値ランプ点灯）は、1度設定すると電源を切っても記憶されています。

F値の表示について

これは、レトルト殺菌の全殺菌効果を表す値です。高温1、2コースでF値ボタンを押して（F値ランプ点灯）スタートボタンを押すと、運転中にF値の表示が可能になります。

確認ボタンを3秒間以上押すと、押している間は表示されますが、低温コースではF値は表示されません。スタンバイ状態でスタートボタンを押すと、それまでのF値は消去されます。

※食材に芯温センサーをセットしない場合でもF値ボタンを押すとF値の表示はされますが、有効な数値ではありません。

④芯温センサーの収納

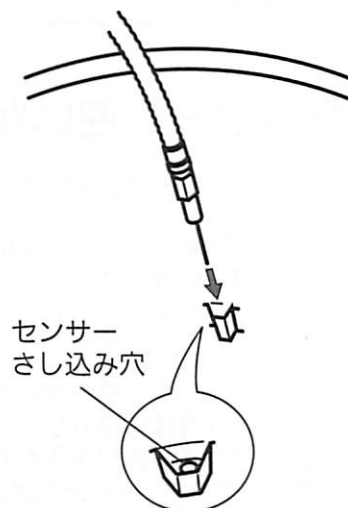
使い終わったら芯温センサーを袋から外し、センサーの汚れをふき取りホルダー内にある穴へセンサーをさし込み収納する。

お願い

センサー部は強くこすったり、曲げたりしないでください。
故障の原因になります。

ランプ点灯確認

F値



運転中止のしかた（2種類の方法があります。）

設定ボタンを押して殺菌時間を「0」にする。

食材の損傷を防止するため冷却工程後、完了工程に進みます。
完了表示が出るまで蓋は開きません。

または **ストップ** を「ピーピー」と鳴るまで押し続ける。

自然冷却で温度が80℃未満になってから蓋が開けられる状態になります。

次のことを確認してから、蓋を開ける。

- 圧力計が0 MPaに下がっている
- レバーロックランプが消灯している

（点灯しているときは、チャンバー内が高温または加圧状態になっていますので、レバーをスライドすることができません。）

消灯

○レバーロック

スタート

⚠ 注意

食材を取り出すときは、耐熱性皮手袋を使用する



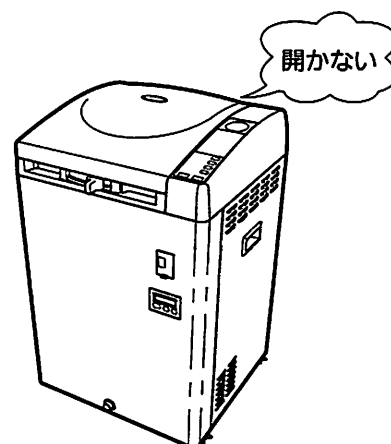
液体は温度が下がるまでに時間がかかりますので、運転終了直後、素手で扱くとやけどの原因になります。

停電について

- 停電になるとコントロールパネルの表示はすべて消えます。また、殺菌温度・殺菌時間・排水温度・排水待ち時間・予熱温度・予熱時間は停電前の設定を記憶しています。
- 停電、または電源スイッチを「OFF」にしたときは、安全装置がはたらいてレバーはロック状態となり、蓋を開けることができません。

メモ

チャンバー内の圧力が0 MPa以上で停電になると、圧力が急激に下がります。このときチャンバー内の食材の容器包装が破れたり変形する場合があります。



停電回復後の確認

- 停電回復後、コントロールパネルの表示はスタンバイ状態になります。
 - ①次のことを確認してから、蓋を開けます。
 - 圧力計が0 MPaに下がっている
 - レバーロックランプが消灯している
(点灯しているときは、チャンバー内が高温または加圧状態になって
いますので、レバーをスライドすることができません。)
 - ②食材を取り出す。

消灯

○レバーロック

スタート

⚠ 注意

食材を取り出すときは、耐熱性皮手袋を使用する



液体は温度が下がるまでに時間がかかりますので、運転終了直後、素手で扱うとやけどの原因になります。

- 容器包装が破れて食材がチャンバー内に出たときは、チャンバー内と排水フィルターを洗浄してください。(☞ 24～25ページ)

③殺菌ができていない場合は、再度運転をやり直す。

メモ

- ・工程の途中で停電したときは、チャンバー内に水が残っている場合があります。チャンバー内の水を排水してください。
(チャンバー内の排水のしかた ☞ 20～21ページ)
- ・チャンバー内に水が残っている状態で運転すると、終了時間が長くなる場合があります。

お手入れ

- お手入れをするときは、電源スイッチ「OFF」および配線用遮断器を「切」にしてください。
配線用遮断器を「入」のままお手入れすると、故障の原因になります。
- シンナーやベンジンなどは、本機をいためますので使用しないでください。

警告



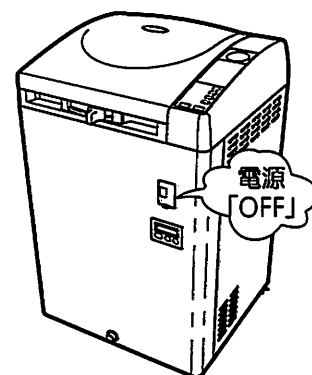
■本機に水をかけない

通電部がショートし、感電・発火の原因になります。



■加圧中に蓋を開けない

圧力計の針が0 MPaを示していることをお確かめください。
0 MPa以外を表示しているときは、絶対に蓋を開けないで下さい。
やけどやケガの原因になります。



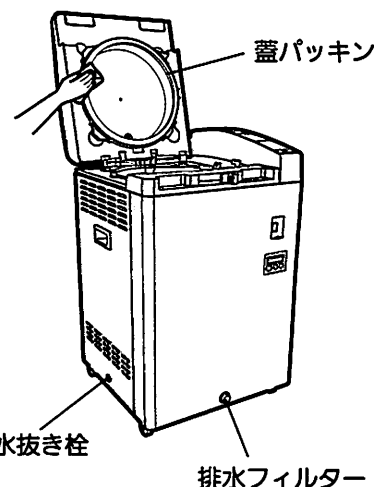
本体

柔らかい布に水または中性洗剤をしみ込ませ、よく絞ってから、汚れをふき取ってください。
腐食により、故障の原因になります。

蓋パッキンとチャンバー開口部

柔らかい布に水をしみ込ませて、ていねいにふいてください。
汚れたり、ゴミが付着していると蒸気漏れの原因になります。
日頃からお手入れしてください。

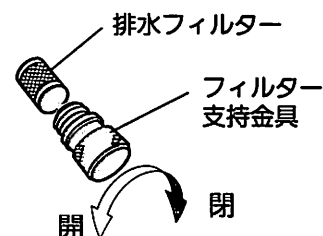
※蓋パッキンは消耗品であり、交換目安は1年です。



排水フィルターの清掃

1週間に1～2度排水フィルターを外して、フィルターの網部に付着したゴミ等を水洗いして取り除いてください。

排水フィルター部



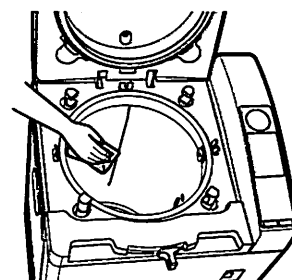
チャンバー内部

●チャンバー内

- 柔らかい布に水をしみ込ませてふいてください。
汚れがよく落ちないときは、ナイロンタワシに中性洗剤をしみ込ませてよくふき、水で洗い流してください。
日頃からお手入れしてください。

お願い

センサー部は強くこすったり、曲げたりしないでください。
故障の原因になります。



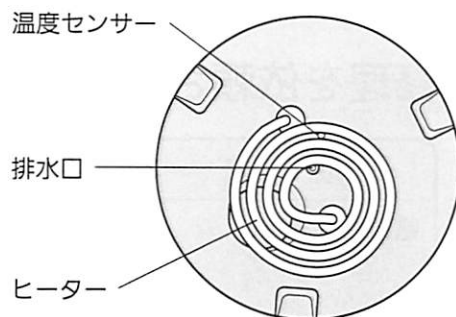
チャンバー内部

● チャンバー内底部

- 手袋をしてヒーターカバーを取り外し、柄の付いたブラシなどで、温度センサーを傷つけないようにていねいに洗ってください。

※チャンバー内部品はサビや腐食の発生しにくいステンレスを使用していますが、お手入れが不十分ですとサビや腐食の原因になります。

日頃からお手入れしてください。



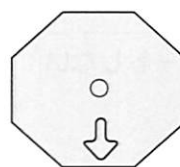
(チャンバー内底部 平面図)

ヒーターカバー

- 手袋をし、柔らかい布に水をしみ込ませてふいてください。汚れがよく落ちないときは、ナイロンタワシに中性洗剤をしみ込ませてよくふき、水で洗い流してください。

※ヒーターカバーはサビや腐食の発生しにくいステンレスを使用していますが、お手入れが不十分ですとサビや腐食の原因になります。

日頃からお手入れしてください。



ヒーターカバー

電源スイッチの点検

⚠ 警告



ぬれた手で電源スイッチをさわらない
感電の原因になります。

⚠ 注意



電源スイッチの遮断器の点検を実施する
正常に動作しないと、感電・火災の原因になります。

電源スイッチは、過電流遮断器能付きです。約6か月に1回遮断器の点検をしてください。

- ① 電源スイッチを「ON」にする。
- ② 電源スイッチのテストボタンを細い棒で押す。
このとき、電源スイッチが自動的に「中立」の位置になれば安全装置は正常です。
- ③ 点検後は電源スイッチを一度「OFF」の状態にしてから電源スイッチを「ON」にする。

電源スイッチが「中立」にならない場合は、お買い上げの販売店へご連絡ください。



長期間お使いにならないとき

- 電源スイッチを「OFF」および、配線用遮断器を「切」にしてください。
- 水栓を閉めてください。
- チャンバー内の排水をしてください。(P.20~21ページ)
柔らかい布などでチャンバー内の水分を拭き取ってください。
- 本機左側下部の水抜き栓のキャップを緩めて配管内の水抜きをしてください。
 - ① 水抜きするときは、水を受ける容器などを準備してください。
※水を抜くときは反時計方向に回す。閉めるときは時計方向に回す。
 - ② 水抜きをしたあとはしっかり水抜き栓を閉めてください。



故障かな？と思ったら

ご使用中に異常が生じたときは、次のことを調べて処置をしてください。

修理を依頼される前に

症 状	確認してください	処 置	参 照 ページ
電源が入らない	● 配線用遮断器の電源が「ON」になっていますか？ ● 停電していませんか？	● 配線用遮断器の電源を「ON」にしてください。 ● 回復するまでお待ちください。	— 23
蓋が閉まらない	● レバーが「開」の位置にありますか？	● レバーを「開」の位置にスライドし、蓋を下に押しながら、レバーを「閉」の位置にスライドさせる。	15
スタートしない	● 電源スイッチが「ON」になっていますか？ ● 蓋を閉めてから、レバーを「閉」側に「ピッ」というブザー音がするまでスライドしましたか？	● 電源スイッチを「ON」にしてください。 ● レバーを「閉」の位置に確実にスライドしてください。	14 15
加熱工程で温度が上がらない (殺菌温度に到達しない)	● コース選択がまちがっていませんか？ (低温コースになっていませんか？) ● 標高に合った沸点になっていますか？沸点の設定温度を確認してください。	● コースを正しく選択してください。 ● 設定が合っていない場合は、お近くの販売店へご連絡ください。	16 6 14
圧力安全弁から蒸気が漏れる (殺菌時の圧力が異常に高い ※殺菌時の121℃の圧力の目安は、0.12 MPa～0.14 MPaです)	● チャンバー内の温度センサーを食材でふさいでいませんか？	● 運転を中止し、温度センサーから食材を離してください。	10 15
蓋が開かない (レバーが「開」にならない)	● 電源スイッチが「ON」になっていますか？ ● 停電になっていませんか？ ● チャンバー内が高温または高圧状態になっていませんか？ (レバーロックランプが点灯)	● 電源スイッチを「ON」にしてください。 ● 回復するまでお待ちください。 ● レバーロックランプが消灯するまでお待ちください。	14 23 20
排水時間が長い	● 排水フィルターが目詰まりしていませんか？	● 排水フィルターを掃除してください。	24
冷却時間が長い	● 水道圧が低下していませんか？	● 水道圧を0.25 MPa～0.75 MPaの範囲で設定してください。	—
電源を入れると現在時刻と違う (インターフェース部)	● 液晶表示部に2000/01/01 AM12:00:00と表示していませんか？	● 内蔵電池が切れている可能性があります。お近くの販売店へご連絡ください。	12
フィルター支持金具から水が漏れている	● しっかり閉められていますか？ ● Oリングが弱っている可能性があります。	● しっかり閉めてください。 ● 付属のOリングと交換してください。	24 30

次のような場合は故障ではありません

症 状	説 明
排水管から蒸気や湯がでる	● 加熱工程で発生する蒸気を排気するとき、もしくは冷却工程で排水する湯です。

デジタル表示部に、注意サイン・エラーサインが表示したとき

- ご使用中に注意サインが点滅表示したときは、次のことを調べて、処置をしてください。

注意サイン	エラー内容	処置方法	参 照 ページ
Lid	レバーが完全に「閉」側にスライドされていません。	蓋を閉めてから、レバーを「閉」側に「ピッ」というブザー音が鳴るまで確実にスライドしてください。	15
Hot	スタートボタンを押したとき、チャンバー内の温度が設定温度より5℃以上高くなっています。	チャンバー内温度が下がってから、スタートボタンを押してください。	—
H ₂ O	給水ホースに水が供給されていません。	水栓を開けて水を供給してください。 水道圧が0.25 MPa～0.75 MPaの範囲であることを確認してください。	14 —

- ご使用中にエラーが発生したときは、エラーサインの点滅表示と共にブザーが断続的に鳴り、安全装置がはたらいで自動的に運転を停止します。次のことを調べて、処置をしてください。

エラーサインの解除方法: ストップ を押し続ける、または電源スイッチを「OFF」にする

エラーサイン	エラー内容	処置方法	参 照 ページ
E 1	温度が一定時間経過しても上昇していません。(横サーミスター)	お買上げの販売店に連絡してください。	—
E 2	温度が一定時間経過しても上昇していません。(底サーミスター)		
E 3	チャンバー内の温度が異常に高くなっています。(横サーミスター)		
E 4	芯温が一定温度より高くなっています。(芯温センサー)		
E 5	加熱用水が少ないか、空になって温度が高くなっています。(底サーミスター)		
E 6	レバーのロック装置が解除できません。		
E 7	レバーのロック装置がはたらいしていません。		
E 8	圧力が異常に高くなっています。 排水管が詰まっています。	排水管の詰まりがないか点検してください。	—
E 9	圧力が正常に上がっていません。	お買上げの販売店に連絡してください。	—
E 10	制御装置の故障です。		
E 11	一定時間経過しても殺菌工程に入っていません。		
E 12	水栓が開いていないか、水道圧が低く給水できません。	水栓を開いてください。 水栓を開いて水道圧が0.25 MPa未満のときはお買上げの販売店に連絡してください。	14 —
E 13 E 14 E 15 E 18	チャンバー内ヒーター制御装置の異常です。	お買上げの販売店に連絡してください。	—
E 16	温度が一定時間経過しても上昇していません。(上サーミスター)		
E 17	チャンバー内の温度が異常に高くなっています。(上サーミスター)		
E 19	芯温が一定時間経過しても上昇していません。(芯温センサー)		

※上記に該当しなければお買上げの販売店に連絡してください。

仕 様

商 品 名	小型高温高圧調理機 達人釜
品 番	FCS-KM76
定 格 電 圧 / 周 波 数	単相AC200 V 50 Hz/60 Hz共用
消 費 電 力	4 kW
外 形 寸 法	幅600×奥行560×高さ979 (mm) 突起部含まず
製 品 質 量	約92 kg (付属品含む)
有 効 内 容 積	75 L
チ ャ ン パ ー 寸 法	φ370×深さ635 (蓋を含む有効深さ695) (mm)
チ ャ ン パ ー 材 質	SUS304 (ステンレス製)
殺 菌 温 度	70℃～121℃ (96℃～100℃の設定はできない)
排 水 温 度	35℃～70℃
温 度 表 示	サーミスタデジタル表示 (25℃～141℃)
圧 力 表 示	ブルドン管圧力計 アナログ式 0 MPa～0.4 MPa
最 高 使 用 圧 力	0.22 MPa
殺 菌 タ イ マ ー	0～250分
安 全 装 置	圧力安全弁、温度過昇防止、空焚防止、 蓋インターロック、過圧防止、過電流ブレーカー
圧 力 容 器 の 種 類	小型圧力容器
付 属 品	ステンレス製バスケット 3個、ステンレス製網棚 15個、ヒーターカバー 1個、 給水ホース (2m) 1本、給水フィルター 1個、芯温センサー用コネクター 1個、 芯温センサー用ゴムパッキン 100個、Oリング交換部品セット 1個

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※消耗部品の蓋パッキンの交換目安は1年です。

保守点検

本機は圧力容器のため、チャンパー内が高圧になります。危険防止のため、専門業者による年1回の点検及び、機器の校正をおすすめします。

圧力容器の管理について

FCS-KM76は、厚生労働省の規定する小型圧力容器に該当しますので、厚生労働省令安全規則「ボイラー及び圧力容器安全規則（昭和47年労働省令第33号）第5章 第94条」に従い、使用者は定期自主検査を義務づけられています。別紙「小型圧力容器自主検査記録」を参考にして点検してください。

保証とアフターサービス

よくお読みください

1. アフターサービス

修理・使いかた・お手入れなどは

■まず、お買い上げ販売店へご相談ください。

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話

()

—

お買い上げ日

年

月

日

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(26~27ページ)でご確認のあと、直らないときは、お買い上げ日と右記の内容をご連絡ください。

- 商品名 小型高温高圧調理機 達人釜
- 設置年月日
- 品番 FCS-KM76
- 故障の状況（できるだけ具体的に）
- 製造番号（本機右側面の前側上部に貼付の定格ラベルに記載しています。）
- お客さまの連絡先（所在地、お名前、お電話番号）

- 保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

2. 保証書

- 修理サービスを依頼されるときは保証書が必要です。紛失しないように大切に保管してください。
- 誤った取り扱いによる故障または損傷および「保証書の記載事項」に該当する故障または損傷については、無料修理期間中でも当社は保証いたしかねます。詳しくは、「保証書の記載事項」をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理についてもお買い上げの販売店にご相談ください。

パナソニック株式会社 コールドチェーン事業部

〒370-0596 群馬県邑楽郡大泉町坂田1-1-1

TEL (0276) 61-5625

3. 消耗部品について

保証期間内でも消耗部品は有料修理となります。詳しくは「保証書の記載事項」をよくお読みください。

蓋パッキン : 交換の目安 1年

芯温センサー用ゴムパッキン : 交換の目安 1回

芯温センサー : 交換の目安 故障したとき

芯温センサー用コネクタ : 交換の目安 故障したとき

4. 補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を製造打ち切り後8年保有しています。

5. ご使用中にふだんと変わった状態になりましたら

ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。

お客さまによる分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

6. アフターサービスについてご不明の場合

修理サービスや商品についてのご相談は、お買い上げの販売店または別紙添付「お客様ご相談窓口」の受付窓口にご相談ください。

【ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

ご使用後

部品交換

⚠ 注意



やけどに注意

使用直後の貯水タンクの水・フィルター支持金具は温度が高くなっていますので、十分に注意してください。

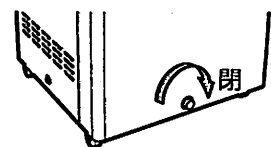
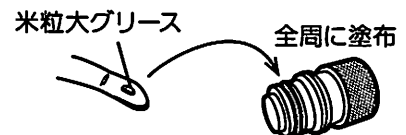
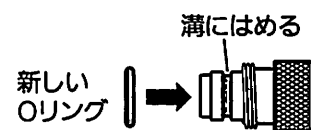
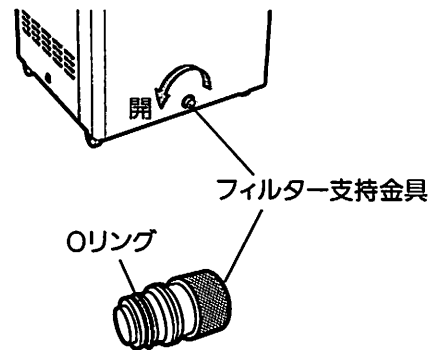
フィルター支持金具Oリング交換

- フィルター支持金具の取付位置より、水が漏れている場合、Oリングが弱っている可能性があります。
付属のOリングと交換してください。

1. フィルター支持金具を反時計方向に回して、はずします。
※本機正面下になります。
2. フィルター支持金具に付いているOリングをはずします。
3. はずした位置に新しい付属のOリングを取り付けます。
※必ず、溝にはまっていることを確認してください。
4. 取り付けした付属のOリングに付属のグリースを塗ります。
・グリースを指に米粒大取り、Oリング全周に塗布する。
5. フィルター支持金具を時計方向に回して元のように取り付けます。

メモ

- 残りの付属品を失くさないよう、説明書と一緒に保管してください。
- Oリングが必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
(部品コード: 661 210 6734)



MEMO

＝ お客さまメモ ＝ お買い上げの際に記入しておいてください。修理などを依頼されるときなどに便利です。

お買い上げ 販売店名		お買い上げ 年月日	年 月 日
	電話		
最寄りのお客様 ご相談窓口		品 番	FCS-KM76
	電話		

パナソニック株式会社 コールドチェーン事業部
〒370-0596 群馬県邑楽郡大泉町坂田1-1-1

© Panasonic Corporation 2013-2015

3RF6P10308200A
D0913-1075